

防潮水門長寿命化計画（抜粋）

（平成23年度～平成62年度）

平成30年1月

岡山県土木部河川課

目 次

1. 総括	1
2. 計画策定施設位置図	2
3. 計画的な保全に関する基本的事項	3
4. 施設位置図、平面図	4
5. 年度別保全計画(省略)		
6. 点検計画	24
7. 施設台帳(省略)		

1 総括

事業主体	岡山県
計画の目標	流域住民の生命・財産を守り、社会経済活動を支える役割を担う重要施設（防潮水門）について、施設の機能を計画的、予防的に確保することで長寿命化し、コスト縮減を図る。
計画期間	平成23年度 ～ 平成62年度
ライフサイクルタイム	40 年
全体事業費	3,490 百万円
コスト縮減額	487 百万円

施設一覧

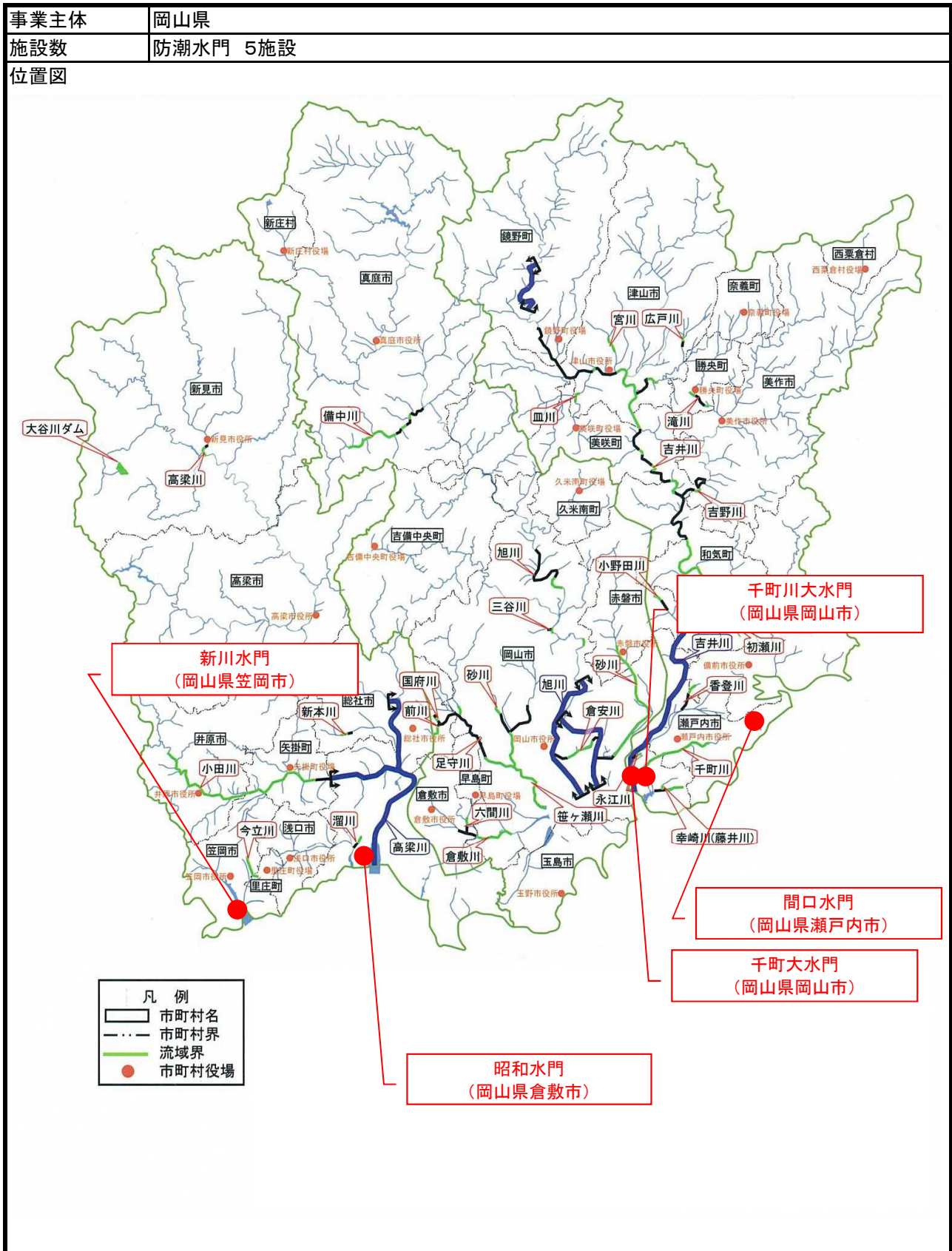
番号	施設名	施設種別	施設設置	
			河川名	市町村名
1	千町大水門	防潮水門	(一) 千町川	岡山市
2	千町川大水門	防潮水門	(一) 千町川	岡山市
3	昭和水門	防潮水門	(二) 里見川	倉敷市
4	間口水門	防潮水門	(二) 奥山川	瀬戸内市
5	新川水門	防潮水門	(二) 吉田川	笠岡市

※全体事業費の施設毎内訳は省略

2 計画策定施設位置図

様式一位置図

長寿命化計画書位置図



3 計画的な保全に関する基本的事項

1) 長寿命化計画の基本方針

点検、整備等による予防保全により施設の長寿命化を図ることにより、事業費の大規模化および高コスト化を回避し、トータルコストの縮減に努める。

2) ライフサイクルタイム設定

長寿命化計画におけるライフサイクルタイム40年とする。また、計画的な点検・整備によって施設を延命化した場合の耐用年数として「目標耐用年数」を設定した。設定に当たっては、対象施設の運用状況を考慮し、防潮水門の基本施設である扉体の耐用年数40年を、定期点検や定期整備など綿密な延命化措置により60年とすることとした。

3) 日常的な維持管理及び点検・整備方針

年1回の年点検を実施することで、設備の信頼性の確保と機能の保全を図る。また、必要に応じて年数回の月点検を行うことにより、設備の機能確認ならびに異常の早期発見に努める。なお、整備にあたっては、点検結果に応じて健全度評価を実施し、年度毎に実施する点検・整備の計画に反映させる。

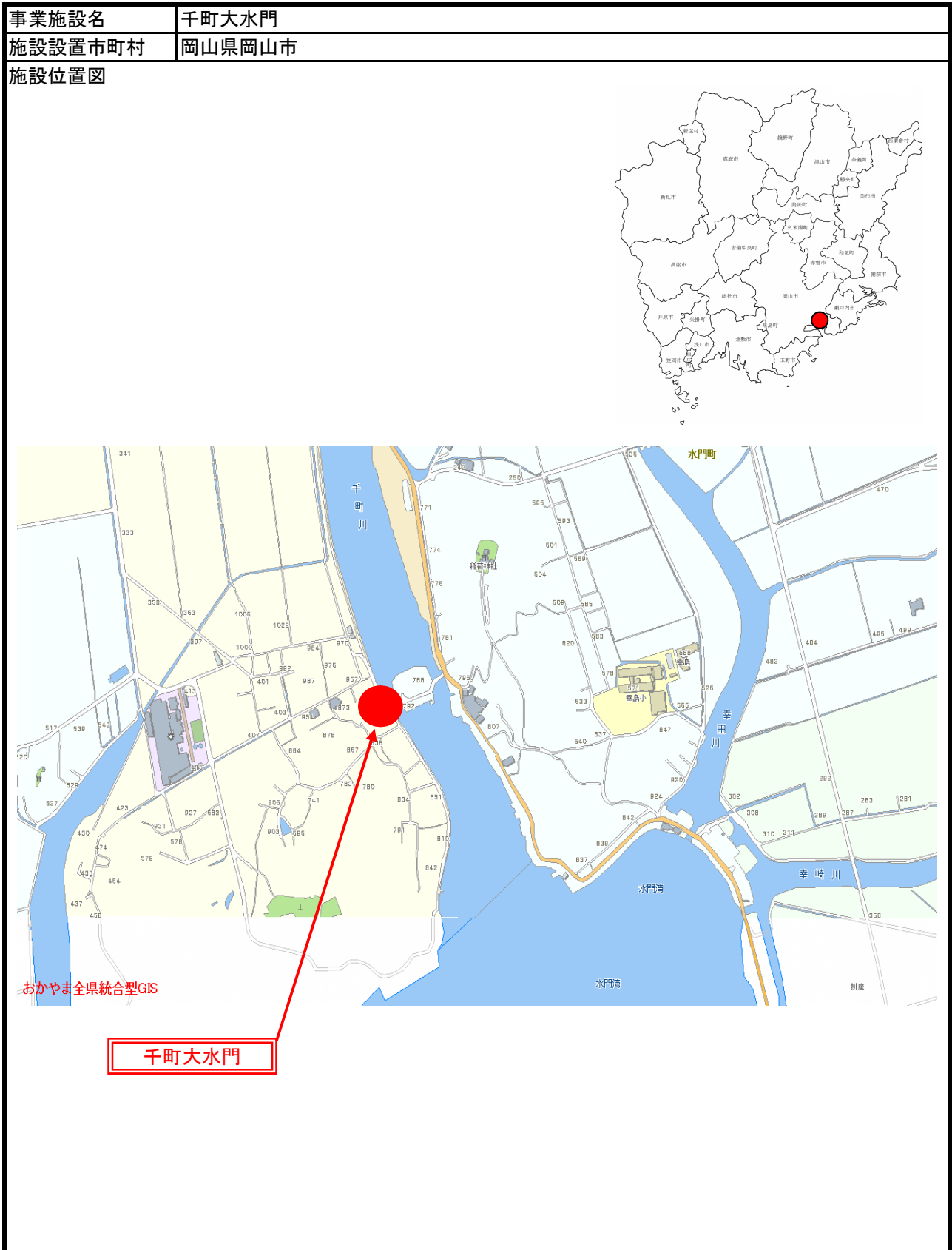
4) 土木施設の改築

土木施設については、健全な状態が保たれば改築の必要はないものと考え、改築計画は含めていない。ただし、今後の点検等で施設に致命的な支障となることが予見される場合など、総合診断の結果必要になれば追加する場合がある。

4 施設位置図、平面図

様式一施設位置図

千町大水門 施設位置図



様式一施設位置図

千町川大水門 施設位置図



様式一施設位置図

昭和水門 施設位置図

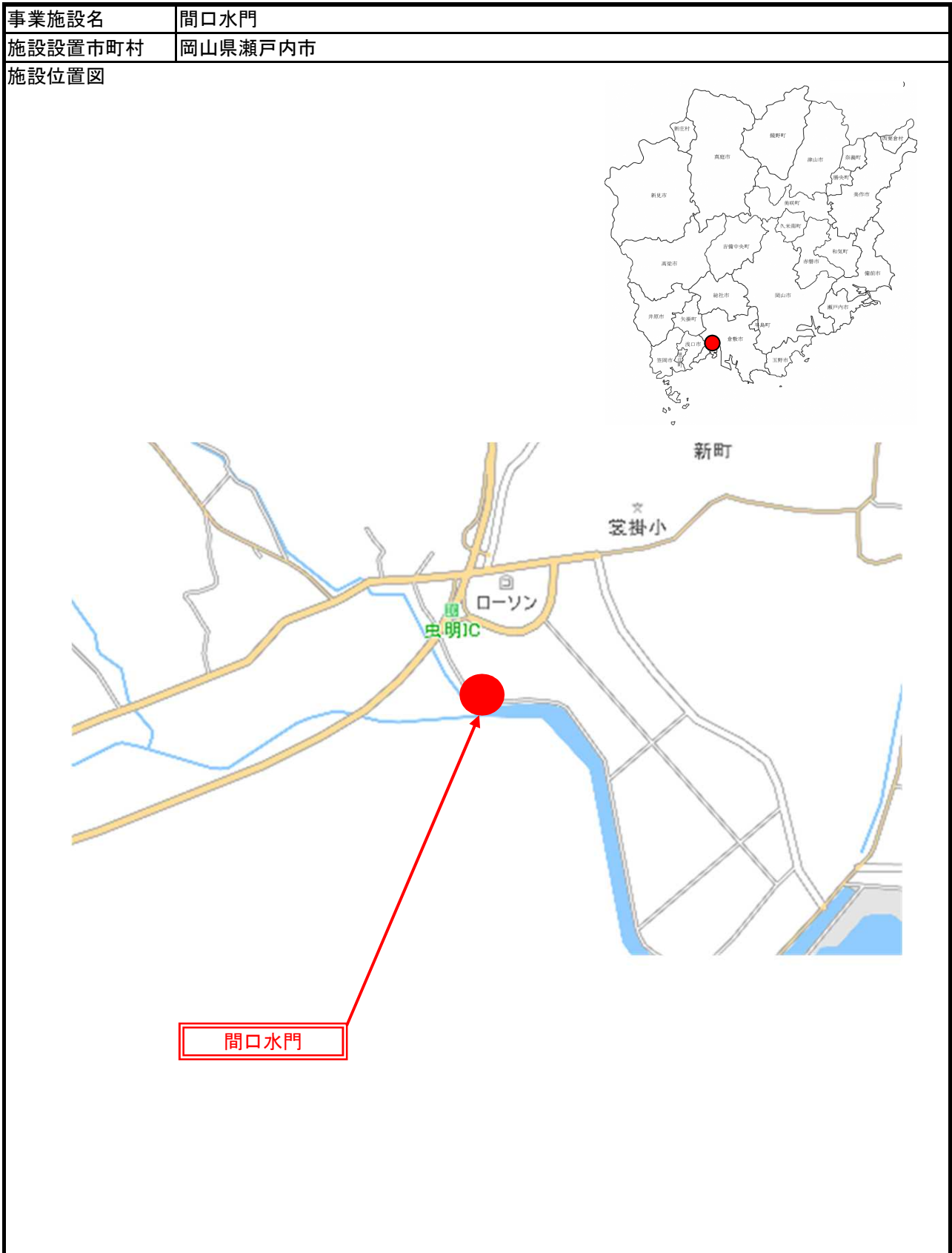
事業施設名	昭和水門
施設設置市町村	岡山県倉敷市
施設位置図	

おかやま全県統合型GIS

昭和水門

様式一施設位置図

間口水門 施設位置図



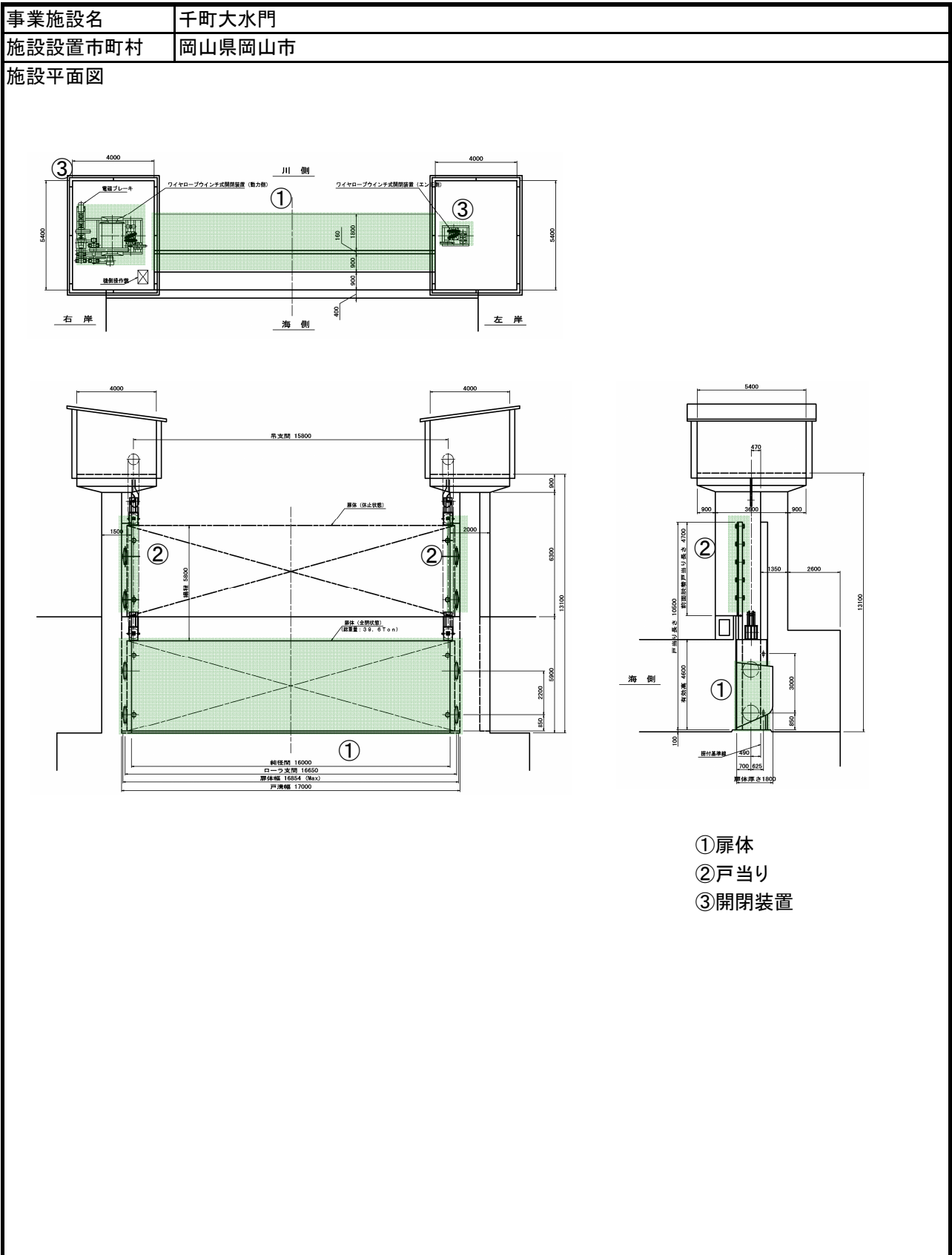
様式一施設位置図

新川水門 施設位置図

事業施設名	新川水門
施設設置市町村	岡山県笠岡市
施設位置図	<div style="text-align: right; font-size: small;">(平成19年1月22日 現在)</div>

様式一施設平面図

千町大水門 施設平面図

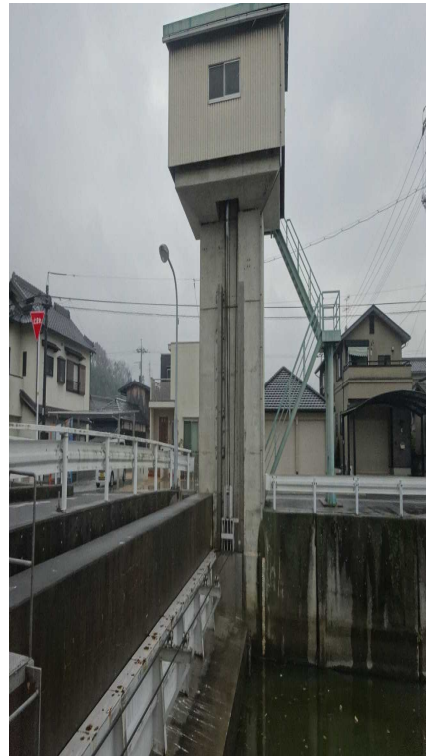


施設写真

①扉体



②戸当り

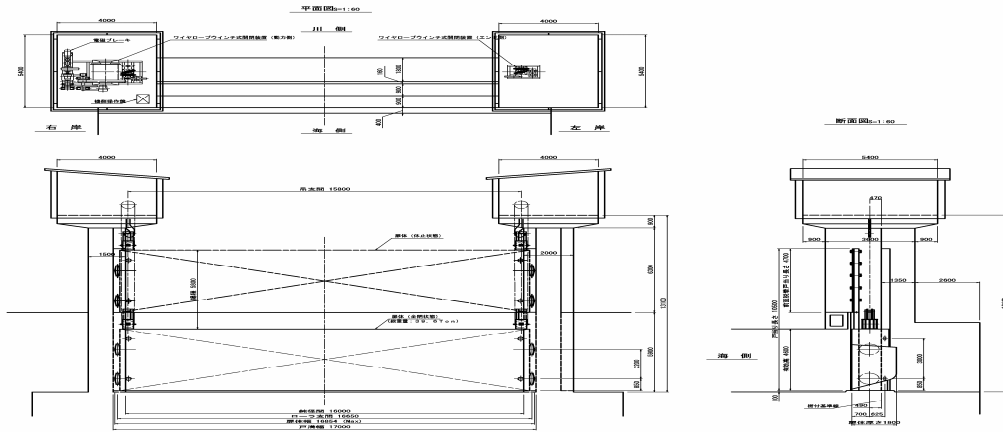


②開閉装置

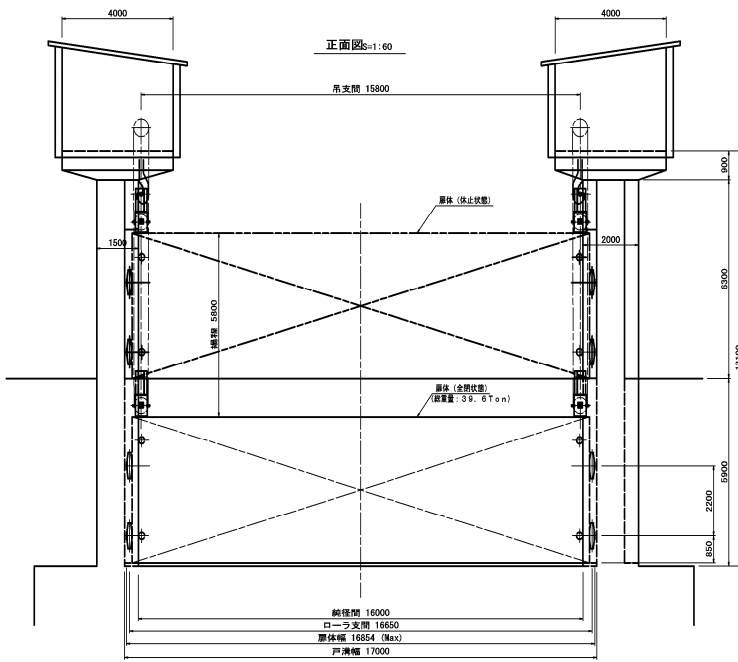


施設構造図

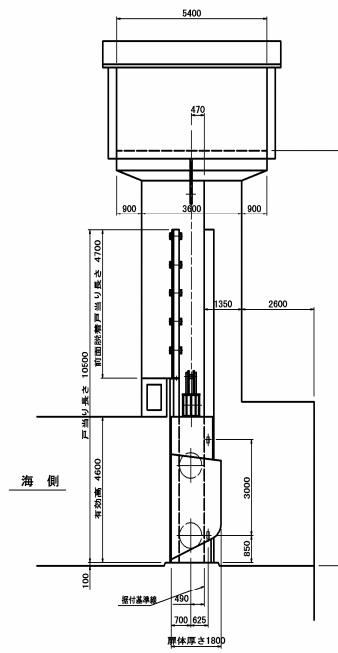
①平面図



②正面図

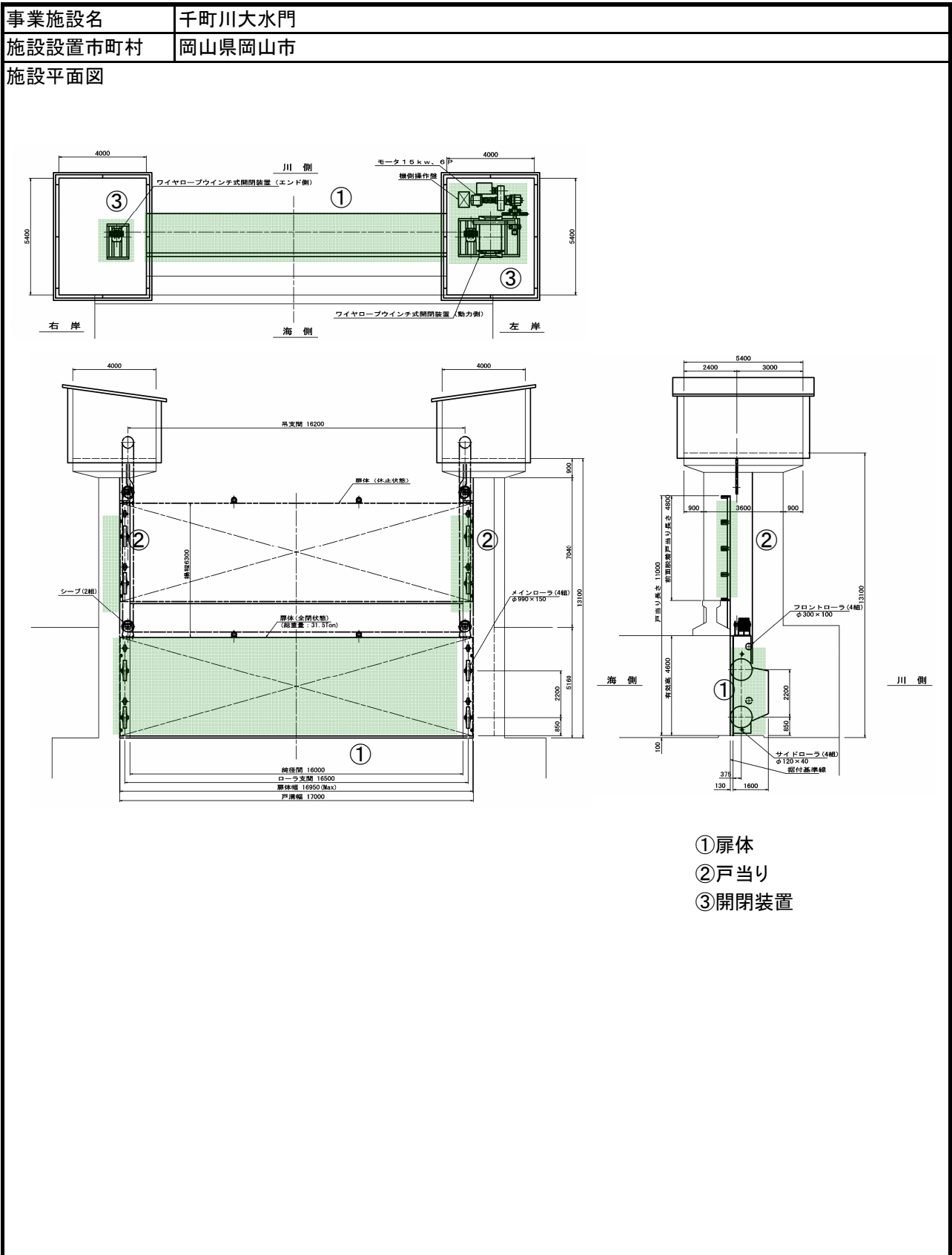


③側面図



様式一施設平面図

千町川大水門 施設平面図



様式一施設平面図(参考)

施設写真

①扉体



②戸当り



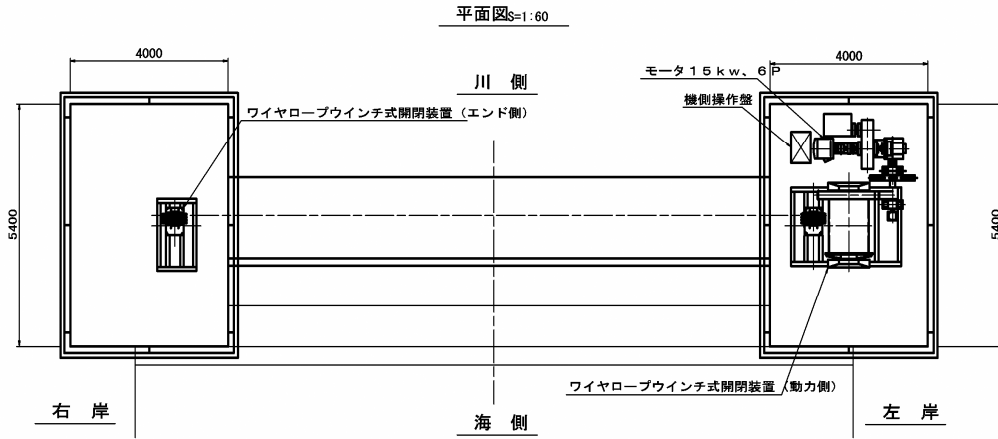
②開閉装置



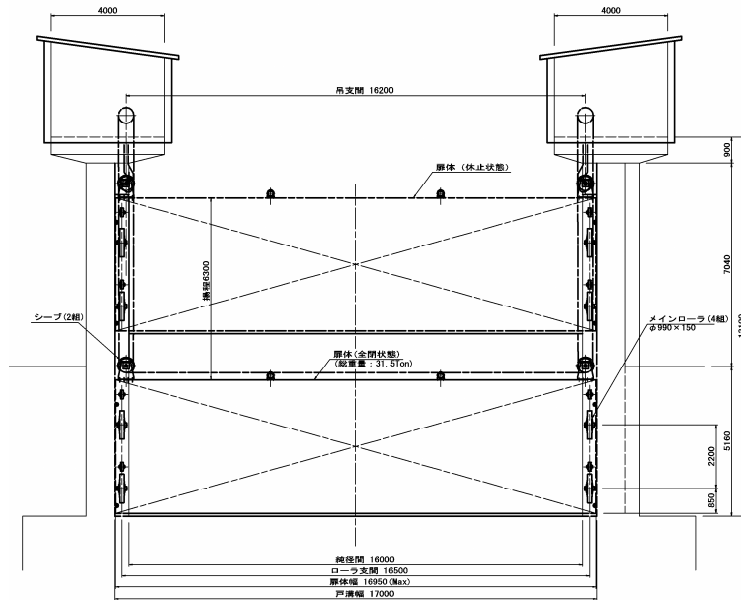
様式一施設平面図(参考)

施設構造図

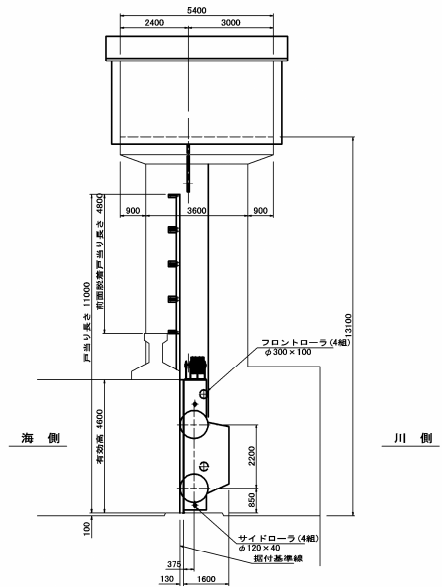
①平面図



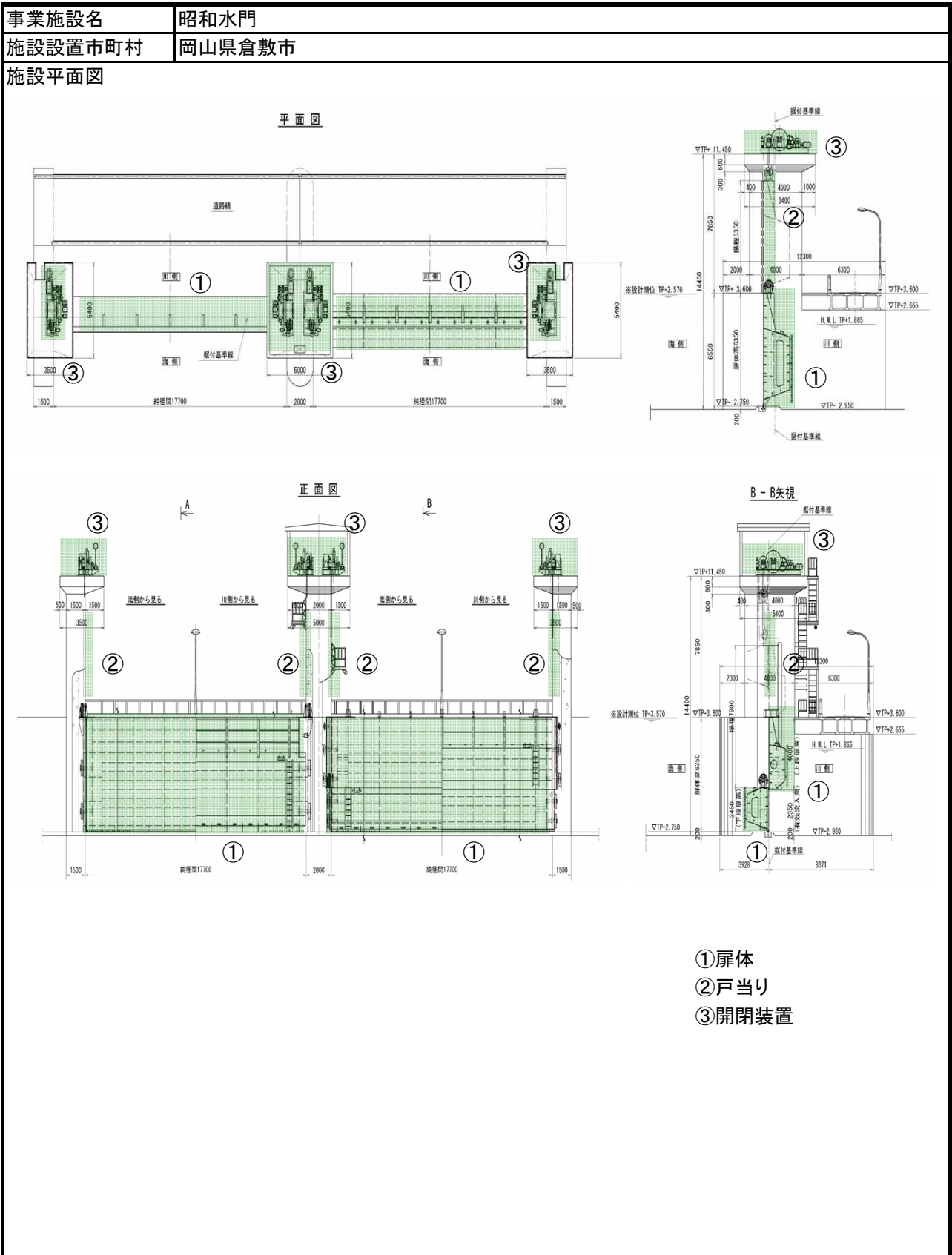
②正面図



③側面図



昭和水門 施設平面図



施設写真

①扉体



②戸当り



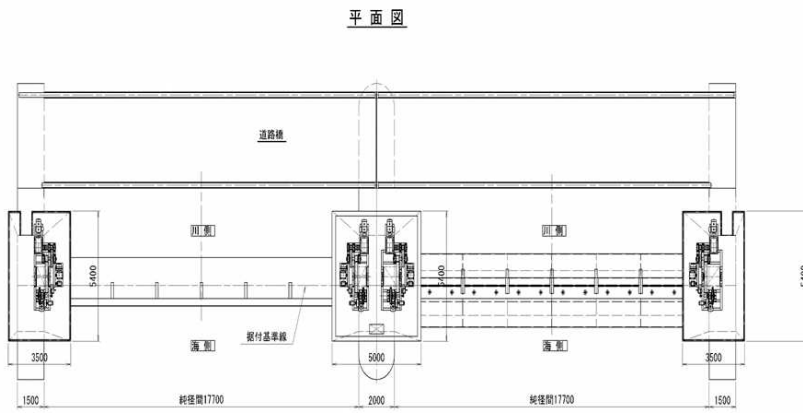
②開閉装置



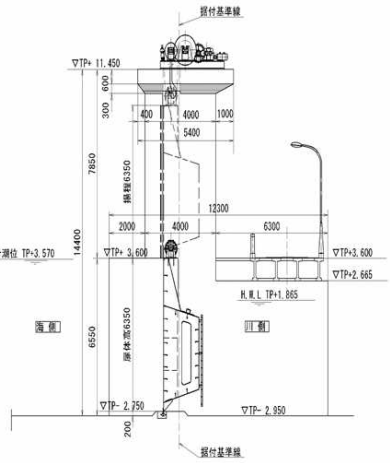
様式一施設平面図(参考)

施設構造図

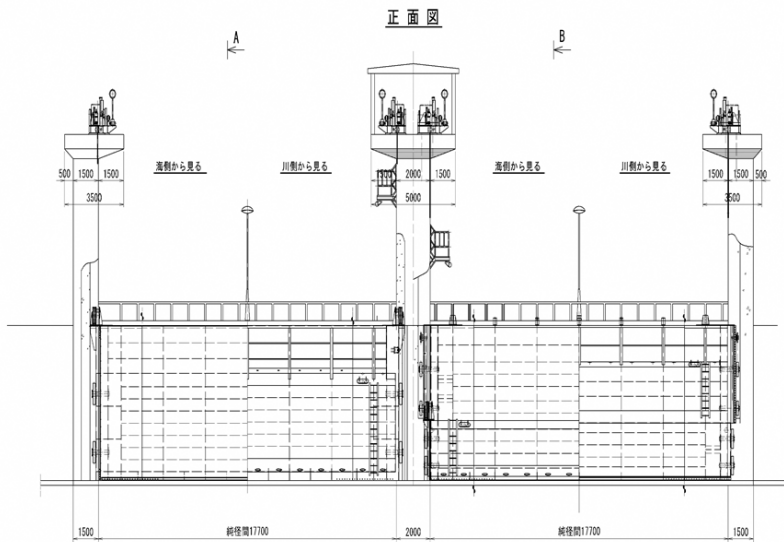
①平面図



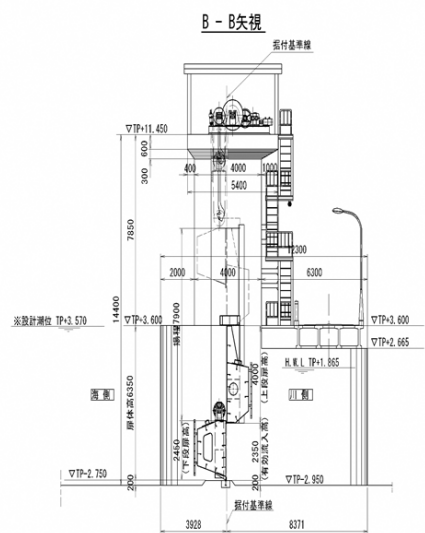
②側面図



①正面図

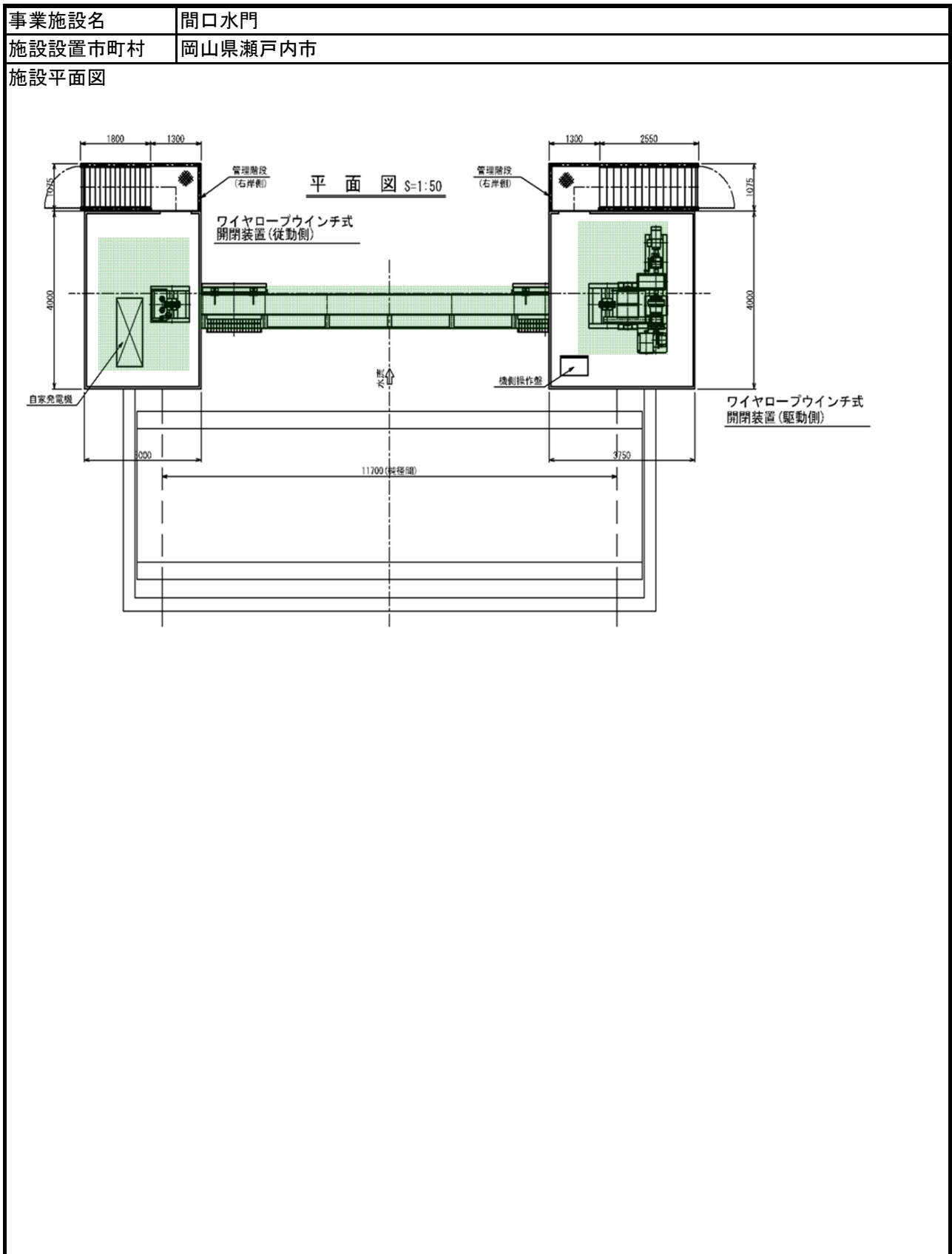


②側面図



様式一施設平面図

間口水門 施設平面図



様式一施設平面図(参考)

施設写真

①全景



②扉体



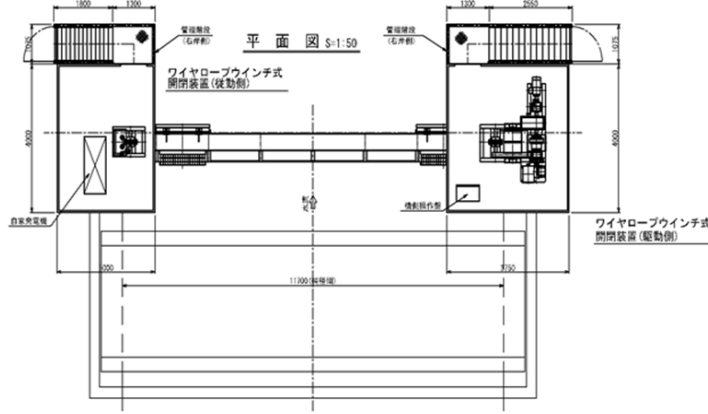
③開閉装置



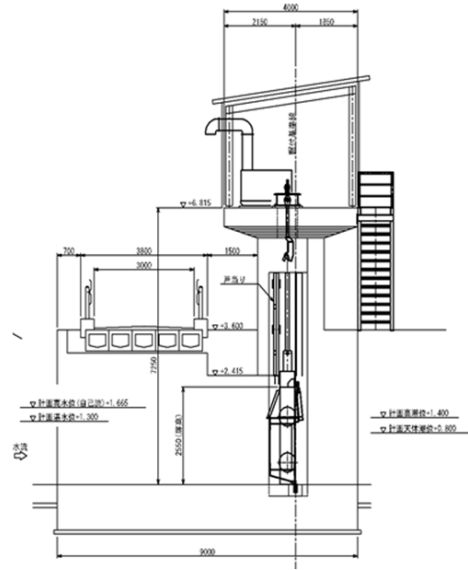
様式一施設平面図(参考)

施設構造図

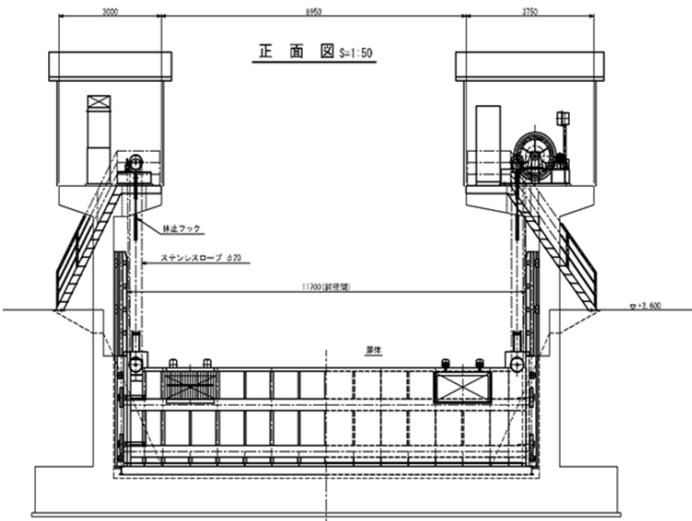
①平面図



②側面図

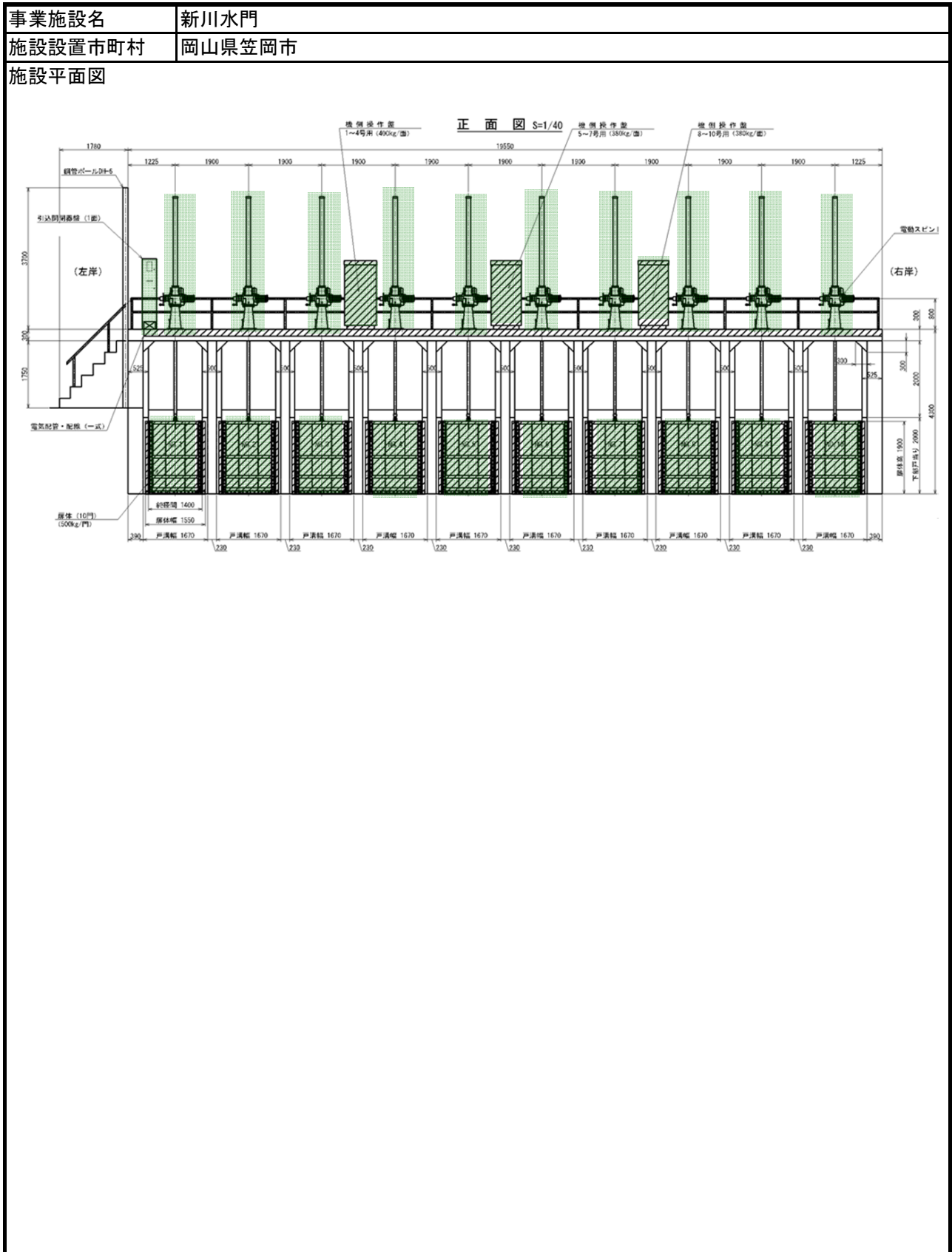


③正面図



様式一施設平面図

新川水門 施設平面図



様式一施設平面図(参考)

施設写真

①全景



②扉体



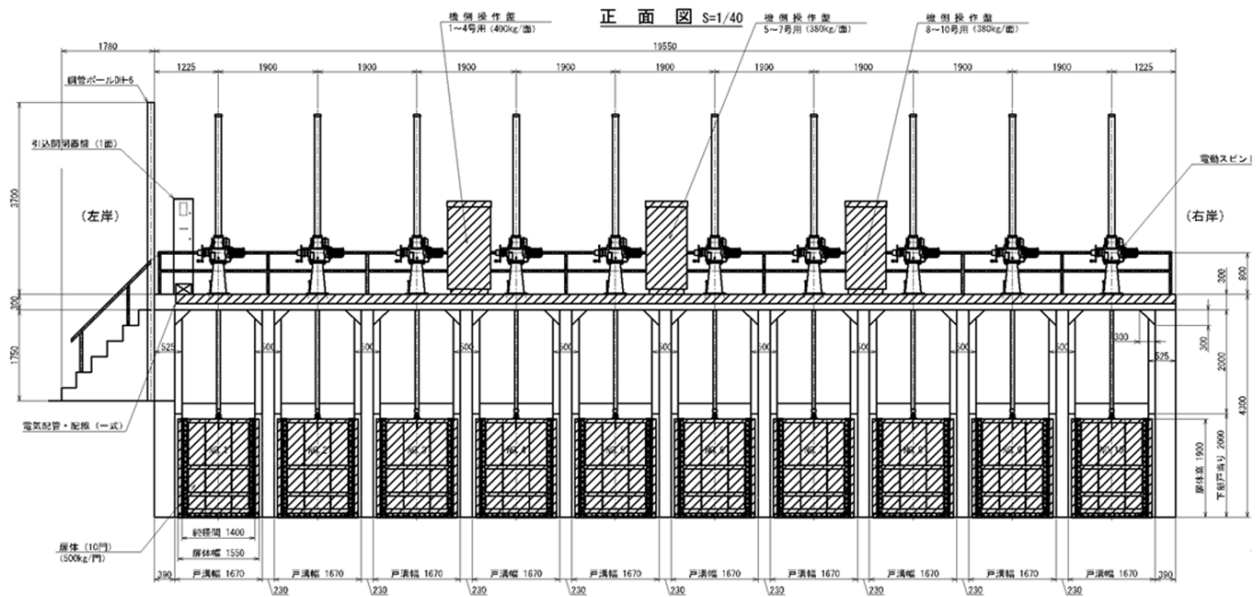
③開閉装置



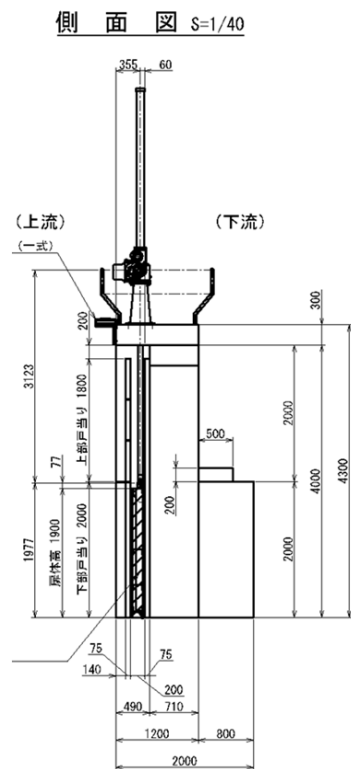
様式一施設平面図(参考)

施設構造図

①平面図



②側面図



5 年度別保全計画（省略）

※ 年度の予算状況により変動が生じるため省略する。

6 点検計画

(1) 定期点検方針

①月点検

必要に応じて年数回の月点検を行うことにより、設備の機能確認ならびに異常の早期発見に努める。

②年点検

設備全体の信頼性の確保と機能の保全を図ることを目的として、適切な時期に年1回実施する。

(2) 臨時点検方針

地震、出水、落雷、その他の要因により、施設・設備・機器に何らかの異常が発生した恐れがある場合に速やかに実施し、目視点検による方法を中心に、防潮水門としての設備の目的、機能、設置環境等に対応した方法で、設備全体について特に異常が無いかを点検する。

(3) 点検計画

下に示すスケジュールを基本とする。但し、施設の稼働状況、危機の健全度等に依りて回数を増減する場合がある。

全施設

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
出水期			○	○	○	○	○	○					毎月1回
非出水期		◎								○		○	1回/2ヶ月

◎:年点検

○:月点検

7 施設台帳（省略）

※ 位置図等と重複する資料が多いため省略する。